

情 報 公 開 文 書

研究の名称	胸部 X 線動態撮影による斜位撮影を用いた肺血流解析手法の確立
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	放射線部 診療放射線技師長 伊藤 貞則
研究の概要	<p>【研究対象者】 2020 年 1 月 1 日から 2029 年 3 月 10 日までの間に X 線動態撮影を行った患者様（慢性血栓閉塞性肺高血圧症・急性肺塞栓症等の肺動脈に血流障害を伴う病態の患者様が対象）</p> <p>【研究の目的・意義】 近年開発された胸部 X 線動態撮影と動画解析技術により、肺野内の X 線透過性の変化にもとづく肺血流解析が可能になりました。胸部 X 線動態撮影による肺血流解析では、左心室内に自動設置された関心領域（ROI）内のピクセル値（\proptoFPD 到達線量）がリファレンス信号として利用されています。これまでの研究で胸部 X 線動画画像から作成された肺血流画像が、肺換気・血流シンチ、造影 CT、肺動脈造影の画像所見と一致したことが報告されているが、正面背側方向画像では心臓と重なる領域の肺血流評価ができないことが課題となっています。さらに技術的制約から、現状 DCR による肺血流解析は正面背側方向画像に限られています。従来 X 線撮影では診断部位の重なりを回避するために多方向による撮影手法が用いられています。そこで、本研究でも斜位方向撮影により解決をはかります。本研究の目的は DCR の斜位撮影を用いた肺血流解析手法を確立することです。</p> <p>【研究の方法】 臨床にて撮影された胸部 X 線動態撮影画像（斜位画像）を用いて肺血流解析画像の作成を行います。作成した肺血流解析画像と他のモダリティで撮影された肺血流画像との相関性の評価を行います。また、臨床的に有用な画像を提供することができるリファレンス ROI の位置を明らかにします。</p> <p>【利益相反の状況】 公開すべき利益相反はありません</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2029 年 3 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表 論文発表</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	・ X 線動態撮影オリジナル画像、X 線動態撮影肺血流解析画像、肺血流 SPECT 画像、造影 CT 画像、Angio 画像、NYHA 心機能分類、WHO 肺高血圧症機能分類、CETPH 重症度分類、SG カテーテル検査心腔内圧データ（Rt-PA、Lt-PA、mPA、RV） 共同研究機関である金沢大学へ情報提供をします。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	研究主機関 富山大学附属病院 病院長 林 篤志 研究協力機関 金沢大学医薬保健研究域長 堀 修

研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	研究主機関 富山大学附属病院 放射線部 伊藤貞則
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7814</p> <p>FAX</p> <p>E-mail tnakaji@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 放射線部・中島 佑</p>